

ふく チャレ

コーヒーの香りとともに 地域に、快適に泊まれる ゲストハウスを



シェアハウスは縁側・食堂などの改築をはじめ、深澤さんもDIYに参加して、地域の方々などと一緒に、みんなで作り上げていきました。食堂の一般営業も準備中で、コーヒーの提供も行っています。

いずれはコーヒーの焙煎所があるゲストハウスの運営も見据え、業務の傍ら、深澤さん自らコーヒー豆を焙煎し、チャレンジショップでコーヒーを提供しています。「将来的には、旅の目的地となるようなゲストハウスを自分で起業したい。そんな、旅の新しい拠点をこの地域

ヒ ッチハイクなどで高校時代に日本一周、大学時代に世界一周をした深澤さんは、人と話すことや人とつながって学ぶことが大好き。2020年、三島町の地域おこし協力隊に就任。働きながら、高校時代からつながりがあつた浜通りにも足を運ぶ中で、楡葉町に新しくシェアハウスができることを知り、協力隊を退職。今年5月から運営会社のスタッフとして働いています。

のみものをつくるひと
ふかさわりよう
深澤 諒さん
(楡葉町)



見よう見まねのDIY作業。「100点満点でなくてもシンプルで丁寧に」をモットーに取り組んでいます。



納得いく味を目指して、自らコーヒー豆を焙煎。イベントなどでコーヒーを提供しています。



シェアハウスの食堂で、自慢のコーヒーを入れる深澤さん。住人の方にも振る舞っています。

に作りたいたいと思っています。シェアハウスでは、地域の方々の力を借りながらのDIYの共同作業や事務作業など『初めての経験』の連続ですが、働きながら運営・経営面も学べるのはありがたい」と話します。深澤さんはこれまでの旅する側から、今度はこの地域で、自分が多くの旅人を迎え入れる側になっていきたい、という夢を広げています。